

令和4年6月6日

林野庁森林整備部長 小坂 善太郎

本日ここに、公益社団法人森林・自然環境技術教育研究センターの令和4年度定時総会が開催されるに当たり、一言ご挨拶申し上げます。

本日御列席の皆様方におかれましては、日頃から、森林の保全管理に関する調査研究、森林技術者の技術向上及び継続教育の支援等により、国土の保全、森林・林業の発展及び科学技術の向上に御尽力されていることに、深く敬意を表します。

また、新型コロナウイルス感染症につきましては、現在もなお収束しておらず、依然として私たちの社会経済、日常生活に影響を及ぼしている中ではありますが、本総会が開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年6月に閣議決定された、新たな森林・林業基本計画では、森林・林業・木材産業による「グリーン成長」を掲げており、林野庁といたしましては、森林を適正に管理・利用し、林業・木材産業の持続性を高めつつ、2050年「カーボンニュートラル」も見据えた豊かな社会経済の実現を目指してまいります。具体的には、適正な伐採と再生林の確保、治山対策等による国土強靱化、伐採から再生林・保育までの収支をプラスに転換する「新しい林業」の展開、国産材製品の競争力強化や輸出促進、都市等における木材利用等を推進してまいります。

これらの実現には、森林施業の効率化・省力化や、持続的かつ高度な森林管理・木材生産を可能とする森林・地理空間情報のデジタル化、ICTやロボット等先端技術を活用したスマート林業、i-コンストラクションの積極的な展開をはじめ、成長に優れたエリートツリー等の利用拡大、自動化機械や木質系新素材の開発等も加え、森林・林業・木材産業全体にわたる林業イノベーションの推進が必要不可欠となっております。

そのためには、豊富な経験と専門的な技術を有する貴センターの会員の皆様をはじめ、関係者が一体となって、現在までに蓄積された技術情報の提供や普及啓発、森林技術者の専門技術の向上及び継続的な教育を進めていくことが、ますます重要となっているところであり、今後とも皆様の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴センターのますますの御発展と、御列席の皆様方の御健勝を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。